

**えんちょう先生の
わくわくだより
NO.9 令和元. 7. 24**

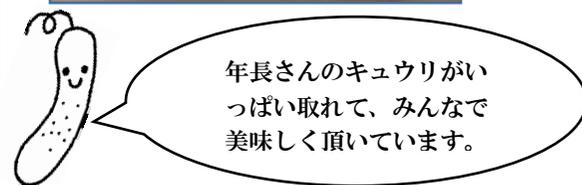
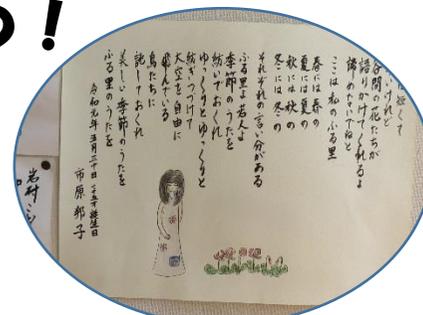


岩村町本町3丁目の勝川さんが、「勝川勇作顕彰会」より地元の画家、曾我一太郎さんの絵画を寄付して下さいました。これは、福音館書店より出ている絵本「地球を旅する水の話」の原画です。曾我さんは岩村小、中学を出られ、子ども達の先輩です。かわいい絵画で遊戯室に飾ってあります。よかったですね

雨がよく降り、子ども達はプールに入れる日を心待ちにしていました。この夏は手足口病も広がり、中には2回も掛かってしまった子もいたね。年中組のAちゃん、職員室を除いて、「パソコンをしている先生に「園長先生、Sちゃんのタオルがない」と言うから、「あれ？どこかへ歩いて行っちゃったかね？」と忙し紛れに声を掛けると、「絶対、歩くわけがないじゃん」と独り言をつぶやき去っていくAちゃんに、思わず笑えてしまいました。

「園長先生、この虫見て」「何て名前？」とカップに入れた黒い虫を持って来た年長のD君とR君「……」「昆虫図鑑で調べてみ？」と声を掛けると、「ゴミ虫かなあ？」「ちょっと、足がクワガタにておる」…なんて、職員室の椅子に座り、図鑑を眺めながらの声が聞こえてくる。二日前、年中組で蝉の折り紙と一緒にやったH君やS君が「先生、これどう？」と、自由時間に作ったのだろう。自分で書いた木に蝉を止まらせて見せに来てくれ「なかなか上手に折れてるよ」と声を掛けると、にこにこ部屋に戻っていく。一人で仕上げた事が嬉しかったのだろう。降園時、外に目をやると、小さいプールの水をジョウロで運んでは花にやってくれている年長や年中の子の姿が…そういえば、午前中、「もったいないから、後で、この水を取っておいて花にやりましょうか？」と話していたO先生の言葉を思い出した。中には難儀をしながらもペットボトルに汲もうとしている年少さんも混じっている。あっちでもこっちでもいろんな活動をそれぞれの思いで楽しんでいる子ども達です。

**いろいろな人の力を借りて
こどもは育つ！**



年長さんのキュウリがいっぱい取れて、みんなで美味しく頂いています。



先日、この本を書かれた市原邦子さんの住んで見える、きつね谷にお邪魔してきました。病が発覚してからこの絵本を3日で書かきあげられ、10日程で仕上げられたと書いてあります。各園に一冊ずつ頂いた絵本で、今子ども達に順に読んで貰っています。ふるさとに戻ってこられた市原さんが、幼い頃の自然をよみがえらせたいと、20数年かけて木を切り、ゴミを片付け、花や虫の住む自然を取り戻された、そのきつね谷です。大学で生物を研究して見えたという、本当に物静かで優しい旦那様が案内して下さいる山の道沿いには、陶芸家の邦子さんが作られたかわいい動物や人形達が勢ぞろい「かわいい！」「素敵！」の連続でした。あいにく花の時期ではなかったのが残念でしたが、きつね谷へ行かせて頂きとてもお元気そうな邦子さんにお会いできた事が何より嬉しかったです。「多い時は一度に15体位作りますよ」と話して下さった旦那様でした。今度は花の咲く頃にお邪魔したいと楽しみにしています。本は自然の中での花や虫の営みや生態についても書かれていて、特に年長さん位なら興味深く見た事でしょう。「君はきつね谷という不思議な谷のことを知っているかい…」で始まる絵本。恵那病院のすぐそばです。命に向き合いながらも、こんな凄い人が恵那市にみえる事を誇りに思いながら帰ってきました。

♣年少さん、雑巾の絞り方の練習！ 7/23やっとプールに入れた！

何でも初めはうまくいかないもの。先生に教えてもらいながら、出来る事を一つ一つ増やしていきます。



家でも、どんどんやらせてください。全て子どもの力になります



力を入れてギユ！



年長組



年少組



♥未満児さんもプール大好き！



プールに入れないうちは、先生とお部屋で楽しく遊んでいます



年中組



おいしいよ

